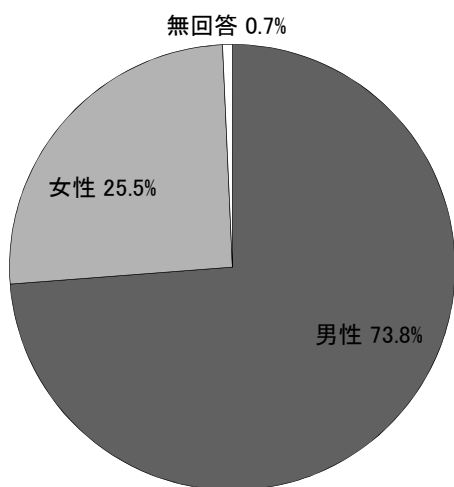


みんなで創る“さいたま市の未来”－さいたま市総合振興計画シンポジウム－

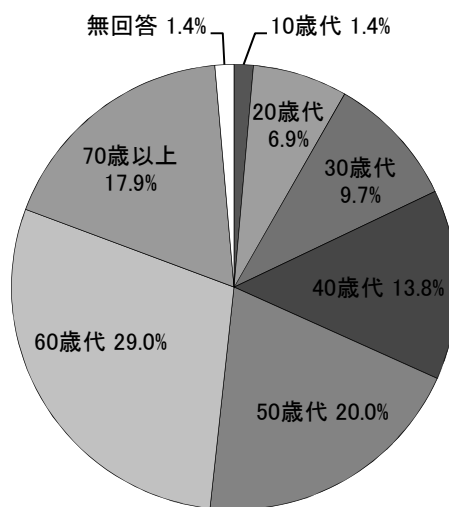
アンケート結果

■回収数 145票

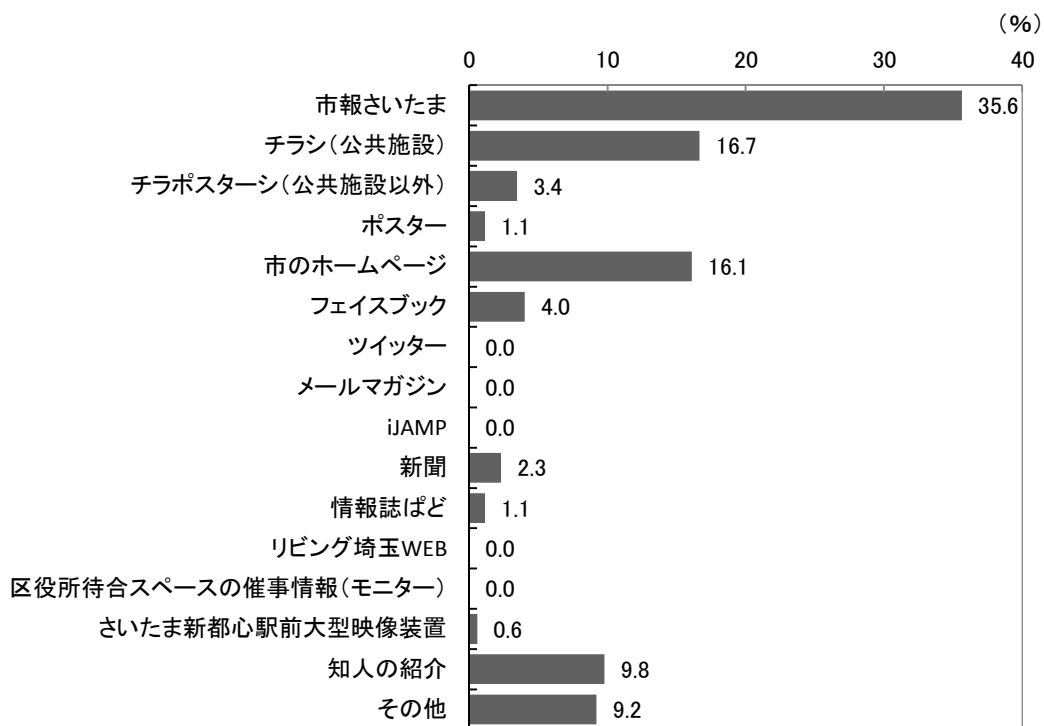
Q1. 性別



Q2. 年齢



Q3. このシンポジウムを何で知りましたか（複数回答）



Q4. 今後、参加したい活動や実践したい身近な取組をお書きください

記述内容（今後、参加したい活動や実践したい身近な取組）	年齢	性別
婚活パーティー	20 歳代	男性
第 4 回学生政策提案フォーラムに出場し、我々の発表により、関係者及び市民の方々に新しい視点を持つきっかけになればと思っております。	20 歳代	男性
市民団体同士が交流を持てる場を作りたい	20 歳代	男性
婚活パーティー	20 歳代	男性
政策フォーラム	20 歳代	女性
スマートウェルネスと同じような、自己健康管理への取り組み	20 歳代	女性
地域活動のシンポジウムへの参加	20 歳代	女性
子ども、青少年の居場所づくり	30 歳代	男性
医療ものづくり事業、大学との連携事業	30 歳代	男性
人口減少に伴う市民の活動について参画したい	30 歳代	男性
総合振興計画における区の取り組み	30 歳代	男性
子供、高齢者含め、さいたま市のコミュニティデザイン	30 歳代	男性
身近なところで、人、環境など様々なことに配慮するよう心掛ける	30 歳代	男性
地域産業の企業について	30 歳代	男性
地域に密着した活動（活動していく上で、その地域に貢献していけるように活動）	30 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ（学校や幼、保） ・乳幼児ふれあい体験（サポート親） ・福島親善ツデーマーチへの参加 	30 歳代	女性
区別の特色あるまちづくり 空き家対策の取り組み	40 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・節電、エコドライブ等の環境にやさしい取組 ・地元のイベントへの参加 	40 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・まちの入り込みやすいボランティア活動 ・趣味の集まりで行う学習会、スポーツイベント 	40 歳代	男性
自治会を主体として、防犯意識を高める	40 歳代	男性
自己健康管理社会 住みやすいハウスづくり	40 歳代	男性
声をあげることの重要性を感じました。	40 歳代	男性
地域のゴミ拾い、防災訓練活動への参加	40 歳代	男性
子供が安心して遊べるような街にする	40 歳代	男性
高齢者の多いマンションでの活動	40 歳代	男性

記述内容（今後、参加したい活動や実践したい身近な取組）	年齢	性別
・地域の美化活動(川をきれいにする) ・新しいエネルギー社会をふまえての住宅建設	40 歳代	女性
地域の活動に参加	40 歳代	女性
地域防災活動に参加する	50 歳代	男性
さいたま市の事業計画と今後発展していくには	50 歳代	男性
地域社会のコミュニティを作る	50 歳代	男性
発達障害者に対する支援体制について	50 歳代	男性
地域活動(祭り、地域振興等)への参加	50 歳代	男性
“災害に強いまちづくり”に関するセミナー・ディスカッション等に今後も参加し、取り組んでいきたいと思います。	50 歳代	男性
スポーツをテーマにした地域振興イベントについて	50 歳代	男性
高齢者のコミュニティ化等の活動への参加	50 歳代	男性
さいたま市の文化遺産(人形・bonsai)を世界遺産へ	50 歳代	男性
健康づくりの企画、ウォーキングや介護予防、地域活動	50 歳代	男性
・コミュニティスクール ・福祉のまちづくり	50 歳代	男性
まちの公民館や集会所を活用した、子供と高齢者等の融合から始まる地域への参加意欲の向上	50 歳代	男性
地域住民との交流(子供、高齢者へ夏まつり、イモ掘り、モチつきへ参加を促す)	50 歳代	男性
自転車のまちづくりについて、子供からシニアまで、安心して色々な場所に行けるサイクリングロードを作してほしい。	50 歳代	女性
・子育てパパ・ママの支援 ・高齢者の話し相手	50 歳代	女性
・医療対策 ・地域のつながり	50 歳代	女性
スポーツボランティア 自転車のマナー向上	50 歳代	女性
一昨年参加させていただいたワークショップ、楽しかったし勉強になりました。また、そういうものへ参加させて頂けたらと思います。	50 歳代	女性
1人暮らしの人への地域参加を促していきたい。 公立小学校の庭の草が伸びて取られずにいるのが、とても気になっています。地域が参加して、草取りできたらいい。学校も求めてくれたらいいと思います。	50 歳代	女性
・子育てひろばボランティアを行っています。これからも広めていきたいです ・食生活推進委員による、親子料理教室や食育活動をしていきたい ・小学校のチャレンジスクールに参加していきたい	50 歳代	女性
さいたま市内で残っている昔の自然環境や昔の建築物の中の庭園の観察見学会	60 歳代	男性
サイクリングロードの整備、ウォーキングロードの整備、健康テーマ	60 歳代	男性

記述内容（今後、参加したい活動や実践したい身近な取組）	年齢	性別
<ul style="list-style-type: none"> ・行政と自治会(町会)との係り方 ・若年層の地域への参加、取組み ・高齢者の地域への役割 ・防災活動 	60 歳代	男性
自治会の改革！！排他的な意識と利権主義(名誉職)を取り除き、活動的な地域のつながりを取り戻すこと。	60 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人 ・地域活動 	60 歳代	男性
海のない埼玉県。少なくとも市内に 50m 競泳用プールの設立に力を注ぎこみたい。現在の沼影プールでの施設改修が可能ではないか、まだ他地域で可能な場所があれば、ぜひぜひ、検討のテーブルに上げていきたいものだ。	60 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財の監視パトロール ・空き家の監視パトロール 	60 歳代	男性
地域に「こまったときはおたがいさま」ネットワークを作っていきたいと思っています。	60 歳代	男性
高齢者のいろいろな行動	60 歳代	男性
リタイア後の活動の場について	60 歳代	男性
美化運動の参加、防災活動の参加	60 歳代	男性
地域の美化活動への参加	60 歳代	男性
防犯活動	60 歳代	男性
健康で生きられる体づくり、食事等の講演等をお願いしたい	60 歳代	男性
各区の将来像具現化への取組みに参加・参画したい	60 歳代	男性
よくわからない	60 歳代	男性
地域の美化活動	60 歳代	男性
教養講座(地域の歴史、身近な法律)	60 歳代	男性
ワークショップ等	60 歳代	男性
「自然に対する取組み」や「オレオレ詐欺撲滅」に対する運動があれば参加したい。	60 歳代	男性
有識者によるレクチャーは、大いに興味もてる。日本の方向、さいたま市がつくるまちづくりの方向が分かりやすい。	60 歳代	男性
「住みやすい街」が一番です	60 歳代	男性
福祉社会への貢献	60 歳代	男性
防災活動への参加	60 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の活性化 ・農業(都市型)のイノベーション発展 	60 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・見沼の自然保護活動を行っている ・自然の仕組みを知って、未来へ活かすことができるよう、子どもたちへの自然観察会を行っている 	60 歳代	女性
スマートウェルネス(ただし、若い人に限定せず、誰もが参加できる健康増進)の取組み	60 歳代	女性
トイレを洋式にしてほしい。道路をきれいに。	60 歳代	女性

記述内容（今後、参加したい活動や実践したい身近な取組）	年齢	性別
子供、小学生、中学生と高齢者との交流の場	60歳代	女性
災害訓練、勉強会、ボランティアの立ち上げ、方法、組織作り、訓練、救助方法、訓練	60歳代	女性
シニアのためのブログを作る予定です	60歳代	女性
市の道路などの緑化、美化計画について	60歳代	女性
まちづくりに関する取組み	60歳代	女性
市の行政実績に対する監視、評価(市議会に対しても同様)	70歳以上	男性
現在と将来にわたって、別所沼を毎日清掃しています。これに役立つお話を聞きたくて参加しました。	70歳以上	男性
地元自治会活動に協力及び高齢者への声掛け見守り	70歳以上	男性
地域における清掃活動等	70歳以上	男性
さいたま市独自のイノベーション	70歳以上	男性
自治会活動	70歳以上	男性
傾聴ボランティア活動を始めた	70歳以上	男性
高齢者の(新しい)移動手段の企画等 ※現在のコミュニティバス、タクシー等は不便	70歳以上	男性
地域資源の確認と掘り起し 気象異常化での減災	70歳以上	男性
国家戦略特化に参加するように、何かを提案すべきと思う	70歳以上	男性
青少年育成さいたま市民会議の活動を今後も続けていきたい。 土曜チャレンジスクールの仕事も意欲を持って継続していく！！ 個人的にはホームステイのボランティアとして、外国の方々と交流していきたい。今後とも！！	70歳以上	男性
子供を犯罪や事故から守る活動	70歳以上	男性
・防災に関して、救災・県・市・各自治体等の問題・震災等もシミュレーション(仮)、源に説明等に関心があり・子供・高齢者の接し方、守り方(交通・防犯)上のこと	70歳以上	男性
本市の高齢者への対策	70歳以上	男性
ICT デバイス対策作業続行、立ち上げ活動。三鷹市に追いつけ	70歳以上	男性
岸氏が論じられた市政のイノベーションの必要性は深く感じられるが、いま方策については思い出すことができません。	70歳以上	男性
『バランスのとれた地域環境づくり』地域活性化は市民がポイント。子育て、高齢者の問題、活力あるまちづくり、全てに整った環境づくりは、市民(生活者)の知恵を結集したいと考えます。産官民との協働のワークショップの企画。	70歳以上	女性
さいたま市独自のまちづくり(出来る限り、国・県に頼らない)	70歳以上	女性
病気にならない取組みの強化	70歳以上	女性
クリテリウムを中止するための活動	不明	女性
さいたま市民の力で、市の抱えるIT課題を解決できればと、Code for SAITAMA の立ち上げに参画中です。	不明	不明

Q5. 基調講演やパネルディスカッションについて、印象に残ったことをお書きください

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市は若い人が多い→インターネットの利用率もかなり多い(体感)。データセンターを誘致して、市の中のサービス全てを集約してはどうか。 ・防災:メーラーサービスに登録しておいて緊急時に配信する ・図書館:すべて同じカードで本を借りられる ・公園:新宿御苑みたくお金を払って入る公園→プリペイド式で金払う ・自転車お金を入れて利用したら自転車1カ月使える等 ・医療:保健所と同等以上、これまでのカルテなどを集約、見れる等 ・引っ越し:すぐ空気が分かる等サービスもプリペイド式で払う ・就職:「明日すぐ働きたい」と思ったら働けるようにできる(老若男女)→さいたま市の高校を出たら就職率100% ・市民サービス:全てすぐに使える(インターネット上で) ・病院、老人ホーム、市民コミュニティセンター、幼稚園、保育園、学校を隣り合わせにする→にぎやかな町に 	20 歳代	男性
様々な職種の方(専門家等)が、「さいたま市のまちづくり」というひとつのテーマについて語っており、大変参考になりました。	20 歳代	男性
岸先生の話は面白かった。 もう少し、総合振興計画についてふれてほしかった。	20 歳代	男性
地方活性化に大切なことは、色々な人が「住み続けたい!」と思えることが第一歩である。	20 歳代	女性
市民と行政の協働の重要性はいろいろお話いただいたが、まず、どこから始めればいいのかわからないです。さいたま市のどこの部署にどのように相談したらよいのでしょうか。市民活動の取り組みについても、その情報は現在自分でHPや公共施設に行かないとわからないものもあります。ますます仕事上の生産性を求められる中で、プライベートの時間を使って市民活動への意欲がわく、優先順位が上がるように、プロモーションをしていただけたら嬉しいです。	20 歳代	女性
ビジネス、マーケティングイノベーションをいかに開発することが重要であることがわかりました。	20 歳代	女性
積極的に地域と向き合い、自分から行動を起こすことの大切さを知ることができました。	20 歳代	女性
市民のリーダーが必要という点。同様に市役所内にも市民との協働のハブとなる、意義を理解し実践できる人材を、もっと育成しなくてはいけないのではとも思いました。 大変面白かったです。ありがとうございました。	30 歳代	男性
ソーシャルデザイン、アプローチなどの新しい言葉を知ったので、色々自分でも調べて、出来ることを考え、実行していきたいと思う。	30 歳代	男性
岸先生の話が興味深かった	30 歳代	男性
低迷する中でも、イノベーションを創造すれば成長できる	30 歳代	男性
ソーシャルデザインによる問題解決方法、事業の達成については市と民が共同で行わないと達成できないものが多々あると考えられるので、これから考えてみたい。	30 歳代	男性
興味深い話が聞けました。一点残念なことは、参加者の中に若者が少なかったことです。これからさいたま市の将来を背負っていく若者がこのような場にもっと参加していけたらと思いました。	30 歳代	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
<ul style="list-style-type: none"> ・行政側から情報提供 ・市民からの提案はあくまで案とするなど、互いの情報交換が大切だと感じました。 さいたま市には市民活動の場が充実している。どのように利用していくかが大切。	30 歳代	男性
「地方の活性化は、地元のステークスホルダーの頑張りにかかっている」との言葉を聞いて、「地方活性化は、自分自身の取り組みにかかっている」というくらいの気持ちで、一人ひとりが地方活性化に積極的に関わっていくべきだと考えた。	30 歳代	男性
人の住みたい町には、企業や人が集まり、市政の運営も行いやすくなる。逆の場合、負のスパイラルに陥るので、そうならないように、今対応していくことが必要。	30 歳代	男性
受け身自治体は、必ず下がっていく。民間、市民が独自で動く必要性。	30 歳代	男性
講演において、日本全体の問題をお話して頂けたことが、今の現状を知ることができ、良かったと思います。このようなお話を聞いた上で、地域のことを伺い、国と地方の状況や取り組みについて理解できました。	30 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントでのプレゼンはとても分かりやすくてよかった ・樹木移植の提案は、とても良く分かりました 市民のアイデア出しを、公共事業のスケジュールを教えてもらったり、留意点を知った上で、意見公開会を開くという点は同意できました。参加できて良かったです。 市民の意見の吸い上げをどうするか、おしゃべりカフェがあればと思っていたら、中村先生が、共同のテーブルがあると聞いて知らなかったなあと感じました。チラシにサポセンまでもらいに行けないことが多いので、市報に載せてほしいなあと感じます。	30 歳代	女性
<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションの際、手話の方の立ち位置がパネリストの後ろになってしまっていて、見づらいかと思いました。 ・村田さん、総合司会という大役お疲れ様でした。岸さんから厳しいコメントもありましたが、頑張ってください。パネルディスカッションを回す際には、パネリストの話の中からキーワードを拾って簡単にまとめて次に進めると良いと思います。（「ありがとうございました」だけだと味気ないです）こういう回しは、浦和出身の評論家の荻上チキさんがとても上手いですよ。参考にしてみるとよいのではないかと思います。今後のご活躍期待しています。 ・実際に市民が参加できる活動に関する資料を配布すると、協働につながっていくと思います。ラストワンマイルを埋めることが大切だと思います。（ふるさと納税についても少しPRしてもよかったかも...） 	30 歳代	女性
もっと時間が欲しい。市だけでなく、区レベルでは出来ないものではないか？	40 歳代	男性
講演での、どのような地方都市でもイノベーションの可能性(余地)があるということ	40 歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルビジネスの活用…さいたま市が具体的に何に取り組んでいるのか、全くわからない。市が率先して、シティセールスの一環として取り組むべき。「ICT×医療」「ICT×子育て」「ICT×まちづくり」など、分野別から始めてない。 ・国際戦力特区…こういった先進的な取組みに「手をあげる」べきである。東京に近い、東京と一体感を出す、そういったメリット使いつつ、「暮らしやすく、あんしんな埼玉、さいたま」を作ってほしい。 	40 歳代	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
地域計画、行政との協働がテーマであり、主体となって取り組むことと周りを巻き込むことの大切さを学んだ。 中村さん、久野さんは共に意識が高い→実際に取り組んでいるため、説明が分かりやすい。 また、さいたま市長の話が最も思い(今後の課題を話し、実現へ向けて取り組むことや、市民への参加依頼)が非常に伝わった。	40 歳代	男性
非常に良かったです。(楽しかったです)	40 歳代	男性
単調で面白くない。パネラーの自己アピール合戦のようで、かみ合っていなかったのが残念でした。	40 歳代	男性
パネルディスカッションで、岸先生があまり発言されなかったのが、少し残念でした。少し毒のあるお話が必要だったかもしれません。典型的な失敗例も知りたいです。 市長が、最初から最後まで出席されるとは思いませんでした。他の自治体では、「あいさつ」だけで帰られることも多い中、驚きました。	40 歳代	男性
まちはみんなで創るという旨の言葉。 自分(市民個人)から行動して(行政を巻き込んで)まちを変える。	40 歳代	男性
・人口減少の中で、どうやってコミュニティ活動を活発化させるか ・生産年齢人口が減っている	40 歳代	男性
地方都市の活性化にイノベーションが重要なのは、その通りだと思った。しかし、さいたま市は都心のベッドタウンとして住みついている人が多く、今でもマンションの建設が多い。このような街だからこそ、産業の活力を高める必要性を感じた。	40 歳代	男性
今あるものを一度ゼロにして、新しいものをつくる方が早いと思う。	40 歳代	女性
岸さんが、さいたま市が好きだとおっしゃったことに感動しました。また、イノベーションの可能性について、印象に残りました。ソーシャルデザインによる地域活性化。	40 歳代	女性
久野先生からご説明頂いた、健康サポートが印象に残りました。両親(母)が会社をリタイヤしてから、移動は車、用事がない日は家にこもっているので、スマートウェルネスさいたまを調べて紹介したいと思います。岸先生のお話も大変参考になりました。	40 歳代	女性
基調講演—民間活力を利用 パネルディスカッション—市民と行政との協働(共同・共存)	50 歳代	男性
イノベーション活動が大事。もっと具体的な事例と新しい提案が欲しかった。	50 歳代	男性
宮本氏の協働の視点(≒行政は市民活動のお手伝い!)は、具体的で共感できました。	50 歳代	男性
このような地域を考える機会は大変大切だと思います。	50 歳代	男性
協働参画を促す意見が多かったように思います。市民一人ひとりでも大きな力となることがわかりました。先生方のお話は良かったのですが、パワーポイントの展開が早く、メモを取りきれませんでした。できましたなら、手元に印刷されたものがありましたらよかったですかなと思います。	50 歳代	男性
宮本社長が言われていた、やはり人が基本という意見に賛同します。どう色んな人を結集するか、それが大切だと思います。	50 歳代	男性
未来を変えていくには、自分たちが小さなことからでも積極的に一步を踏み出していかなければならない。それは、どんな小さな一歩だとしても大切であること。 岸先生の講演は、わかりやすく、何が重要なのか?を明確に捉えることができました。ありがとうございました。	50 歳代	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
民間のみではなく、行政自身も“ビジネスイノベーション”が必要。	50 歳代	男性
何をしたいのかよく分からなかった。よくある自己紹介、事例で時間が無くなってしまい、さいたま市でどう進めていくのか、よくわからない。	50 歳代	男性
どんな地方都市でもイノベーションはある 人が住みたい街へ→教育・保育、高齢者の安心が重要 協働の形として、行政がみなさんの取り組みに「ご一緒にいいですか？」という姿勢がいいのでは！（宮本氏） ソーシャルデザインの重要性と可能性	50 歳代	男性
さいたま市の施策は数多い。先進的な取り組みを、住民が積極的に利用すべきである。スマートウェルネス、ものづくり！	50 歳代	男性
パネルディスカッションの時間を、もう少し確保した方が良いと思います。	50 歳代	男性
・基調講演:いろいろな経験からのお話、わかりやすく、非常に参考になりました。 ・パネルディスカッション:4人の非常に経験豊富かつ、それぞれの視点からの提言は、大変参考になりました。時間が短かったのが残念でしたが、これをきっかけに、いろいろな場(サイト)で知見を広げ、私も何かできることに参加していきたい。	50 歳代	男性
さいたま市のイノベーション。景気の悪い中でも、何か突破口を見出していかなければならない。さいたま市の人口減少は極端にならないが、高齢者が増えていくことで、医療、介護費用の増加が見込まれる。どうせなら、医療は医師不足なので、介護特区として、施設を作り、雇用を生み出したらどうか。	50 歳代	男性
岸先生の講演から、地元からいかにイノベーションを生み出すかという内容。 宮本氏の、一緒に取り組んでみませんか⇒皆様の取り組みにご一緒にいいですかという行政の姿勢	50 歳代	女性
ソーシャルデザインを調べてみようと思います。	50 歳代	女性
より学生を参画させられると良いと感じました。	50 歳代	女性
パネルディスカッションがどういったものか？で参加させていただきました。経験として第一歩です。	50 歳代	女性
宮本直美さんの行政が「私たちもご一緒にいいですか？」の言葉の方がしっくりするという発言に「未来」を感じました。 久野先生が面白かったです。パワーをいただきました。	50 歳代	女性
漠然と暮らしては、問題点は見つからないので、見つけて、自分に何ができるか考えていきたい。岸先生、リーダーが地域にすることが大事という言葉が印象に残りました。	50 歳代	女性
岸先生のお話は聞きやすく、簡単な言葉でしたので、私でも理解しやすかったです。久野先生もいろいろな活動をされ、パワフルな女性だと思いました。宮本さんは若いのに素晴らしい考え方でステキでした。若いママさんたちのカリスマになってほしいと思いました。中村先生は、練馬の事例がわかりやすく、私たちの活動プロジェクトの関わり方が、なんとなくですが、わかった気になりました。	50 歳代	女性
日本はこのままでは尻つぼみということがよくわかりました。一昔前の規制緩和政策が大いに逆効果を果たしているようです。行政のレスポンスが遅いと大変困ることがあります。行政の速効的な判断が必要だと思います。	60 歳代	男性
楽しかった！	60 歳代	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
講演内容も比較的理解しやすく参考になった。できれば、あと30分あると、もっとまとまりもあったか感じられた。講師の選定は良かったと思う。パネルディスカッションも時間が少ない中において、パネリストの説明もわかりやすかった。総体的に、本シンポジウム、評価できる。	60歳代	男性
これからは地方の活性化、上からではなく地方の人々が自分自身で何とかしていく意識とイノベーションを持つこと。行政によらないこと！ソーシャルビジネスなど民間でできることは民間でやる(岸さん)。住んでみたい町、教育・福祉の充実など、キーワードをいただきました！	60歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・地方は動いている ・概要版の説明を責任者よりお願いしたい ・パネラーに行政責任者がいない？ ・司会がタレントでは、シンポジウムとして力不足 	60歳代	男性
全体的に「お説教的」なイメージだった。さいたま市の未来を思い描くというより、「みなさん、何かやって見てごらん」という呼びかけだった。むしろ、活動している市民の方々のレポートを、いくつかのジャンルごとに聞いたかった。イノベーションをつくり出す、新しい発想の企画力が求められているのではないだろうか。	60歳代	男性
やはり基本「市民」がこの街で“生き”、“死”で行く、その中でどう生きていくのかを大きく学ぶ機会だったと思う。	60歳代	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション(基調講演)ハードとソフト面が必要 ・労働生産性の問題、ドイツ、オランダ等に比較し、まだ低い。今後向上することにおいて、経済成長する可能性があるが…(基調講演) ・ソーシャルデザイン(パネルディスカッション)リーダーの出現が大切 	60歳代	男性
一般的な話だった。ただ、生で聞いたのは良かった。	60歳代	男性
岸先生の話が解りにくかった。(特にさいたまのことをあまり知らない)	60歳代	男性
長期的な成長を持続させるには、地域の一人ひとりの力が、そして、知恵が必要であること。	60歳代	男性
次回も参加したい	60歳代	男性
さいたま市が未来を考え、いろいろ施策を実行していこうとしていることがわかりました。	60歳代	男性
色々参考になりました。超高齢者社会になるのに鑑み、運動がいかに医療費の削減になるかわかりました。	60歳代	男性
時間が少ないために、部分的であったように思います	60歳代	男性
地域からのイノベーションを起こす。首都圏の政令指定都市であるさいたま市の位置づけとは何かを考慮しながら、ハード、ソフト面からのイノベーションの素地を発見し、それを伸ばす。	60歳代	男性
基調講演:先生の多面的活動を例に、具体的事項を添えていただきましたかった。	60歳代	男性
安倍政権の最重点課題⇒地方の活性化⇒イノベーションの重要性をひしひしと感じました。	60歳代	男性
人口減少、生産年齢人口の減少での経済成長は難しい(消費ボリュームも減少)。税金の使い方について、従来とは違った視点で行うことが必要。昔を取り戻すことではなく、現実合った政策を考えることが必要。借金に依存しない社会を構築することが必要。社会環境が変化していることを意識することが必要。優先順位は変化しているはずである。	60歳代	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
基調講演…日本の経済を長期的に見た場合、人口、資本ストックが減少する中、生産性の向上に活路を見い出そうとしているということが理解でき有益でした。 パネルディスカッション…市民参画に関し、宮本氏から行政が「皆さんも参画しませんか」に違和感を感じる「皆さんの取り組みに参画させてもらっていいですか」と言うべきと言われたことです。行政はやはり上から目線の姿勢を改めなければならないということ。それを学びました。	60 歳代	男性
基調講演で感じたことは、国に頼らず、地方自治体や市民の一人ひとりが「どうするのが良いか？」にかかっていると感じた。これは個人的には、家庭を守り、「子供をどのように育てていくか？」を考えるのと同じで、生活保護等を受け取っている若いバカ者が多い中、世の中は良くならないし、政府が「悪い！」と言っている連中の考える人たちと同じ。また、地方公務員の年収を下げるべきだ。さいたま市の平均が 700 万円とはオドロキです！	60 歳代	男性
活性化のためには、問題意識を持ったリーダーが市民の中から出なければ、市の推進する協働のまちづくりが困難であることを感じた。	60 歳代	男性
・人口減少と働き手不足 ・ビジネスイノベーション、技術だけでない ・働くこと＝生きること ・スポーツの力—医療費削減—	60 歳代	男性
大都市はまだまだ豊かなので、苦痛を感じないようです。ゆでがえるになる前に行動したいものです。	60 歳代	男性
司会のさばきが今一！パネラーの方々も、もっとフランクに率直に話してほしいと感じた。（事前にストーリーがあり過ぎると感じた）	60 歳代	男性
行政からの TOP-DOWN を待つのではなく、市民側からの BOTTOM-UP が大切だと認識した。	60 歳代	男性
さいたま市総合振興計画について考える良い機会になりました。	60 歳代	男性
自立化の手伝い(行政)	60 歳代	男性
①人口増加のためか、よそ者文化で他人に対して思いやりのない。盲導犬を刺したり凶悪な人間が多い。 ②自転車マナーが悪い。もっと取り締まってほしい。 ③ツールドフランスさいたまクリテリウムは良い企画だが、ネーミングが良くない。もっと高尚なネーミングにしてください。満足している人は見たことがないです。 ④浦和レッズの人種差別行為は入場料、1 億円損害の弁償を取り立ててください。馬鹿者に個人弁償させてください。厳しく常識を指導していかないと、世間に笑われています。 ⑤自転車の規制を日本で一番厳しくしないと、ツールドフランスの企画倒れになります。 ⑥人種差別をした 4 人に対して、損害賠償を請求してください。1 億円の税金はムダである。	60 歳代	男性
・多次元社会の活性化 ・ソーシャルデザイン ・共同のテーブル ・行政はサポート	60 歳代	女性
後ろの席では画面の字が見えない。テーマの絞り込み(もう少し具体的に)と一枚ペラでもいいから、講演やパネルディスカッションの資料配布がほしい	60 歳代	女性
基調講演は、TV、ラジオ等で聞いている内容と思いました。オリジナルの意見を伺えれば素晴らしいと思います(イノベーションの例など)。パネルディスカッションはピンときてよくわかり、これから行動したくなりました。	60 歳代	女性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
市民が動くことは社会が動く等勉強の機を持って良かった。	60歳代	女性
さいたま都民をやめて、さいたま市の再就職を半年近く行い、60歳以上の仕事がほとんどないことを知らされました。朝の通勤時、車内はシニアの方も多く、お昼や飲み会は全て都内、私など買い物も全て都内でした。千葉、神奈川に比べて観光資源に乏しく、魅力も乏しい。このさいたま市の一番の強みは、平地が多いので、災害に強いということです。都内の企業の誘致はなぜ成功しないのでしょうか。幕張(千葉県)には富士通など大手企業が駅前に9社くらいあります。新都心は？大宮は？60歳以上の働く場は、男性なら警備員や交通整理、清掃、女性なら仕出し弁当作りかデータ入力为主力です。60歳でも70歳でも体力、気力、知力共に若い人もいます。それを一律に年齢だけで判断しています。さいたま市の企業が認識を変えて、シニアの活用を有効にする方策を考えるべきだと思っています。若い世代を補助し、仕事の形態は顧問やパート勤務でも、もっとホワイトカラーの職を増やすべきです。働かず、やるべきことも見つからず、ストレスを溜め病気になる、医療費が増大していく。税金の納税額がどんどん下がっていきます。のんびりしてますね。さいたま市。個々の企業のPRではなく、もっと具体的なシンポジウムを期待していました。最後の久野先生のお話は参考になりました。	60歳代	女性
市民+(協力)行政→良いさいたま市になっていく	60歳代	女性
<ul style="list-style-type: none"> ・さいたまでいかにイノベーションを生み出していか ・さいたま市では未だ国家戦略特区への取り組みがなされていない 	60歳代	女性
<ul style="list-style-type: none"> ・パネルのみでフロアからの質問・意見の時間がなく、極めて不満足な終わり方 ・ワールドカフェにもパネラーが欠け、おざなり ・9月11日付読売新聞が報道した「市総合振興計画」目標達成率についての発表資料は、今回の催物の配布資料には不可欠なもの。情報提供が不十分 	70歳以上	男性
「イノベーション」に強く触発されました。	70歳以上	男性
数年先までは成長の大きなファクターである大きなファクターである人口について、さいたま市でも増加が見込めても、その後は減少の現実が来ると思われる。活性化、イノベーションをどう作り出していくのか―差し迫った課題となること―を提起された。	70歳以上	男性
基調講演の岸先生のお話が大変分かりやすく勉強になりました	70歳以上	男性
イノベーションの考え方や、今後の対策について方向性も含め、新たな視点と対策を考える時が来ていると感じました。	70歳以上	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・消費税引き上げが不透明な状況にあること ・地方の活性化が我々の将来のカギを握っていること ・産、官、学、地域住民が一体化していくことが地域発展に重要であること 	70歳以上	男性
<ul style="list-style-type: none"> ・岸先生の話は、もう少しパワーポイントなど、図表を用いて話してほしかった。 ・「さいたま市の未来」との題であったが、その未来図がよく見えない。行政だけでは実行できず、市民が計画初期から参加することによって、理解や実行性がよくなることがわかった。 	70歳以上	男性
総合振興計画とこの催しとの関係がよく理解できず、特に印象に残ったことはありません。	70歳以上	男性
岸先生の地方の活性は「国に頼らず、地方自治体、地方の中小企業、市民、町民が地方を再建すること」。私はその中でも地方自治体が主導でなく市民が主導で自治体を助けるくらいでなくてはいけないと思う。(※自治体に頼ってもいけない！市民、国民が国、町を助ける！)	70歳以上	男性

記述内容（基調講演やパネルディスカッションで印象に残ったこと）	年齢	性別
現場現物現実を踏まえた協働が重要	70歳以上	男性
色々参考になりました。	70歳以上	男性
宮本直美さんの話が興味深く聞くことができた。	70歳以上	男性
共同テーブルという組織があるということを初めて知りました。	70歳以上	男性
イノベーションをどう上げていくか。ディスカッションについて…さいたま市の未来ということなので、子育て等若い人等のことが多く問題になっているが、市の将来には高齢者が住みやすい街づくりも大切ではないかと思われませんが、そのことについての意見少なかった。今は若い県ということは、将来は年寄りの県ということではないでしょうか。	70歳以上	男性
地域の人育て活用する ・システム(協同)を如何に利用するか ・地域機関の利用(地域の方、さいたま市)積極的に参加して下さい ・企業の参加、協力者、多くの人が必要である	70歳以上	男性
・イノベーションの真の意味を、岸先生より指し示されて納得。改めて取り組みよう。アベノミクス第3段階は、このイノベーションで対応すべきと考えた。(その具体化は、市民参加の自治体運営にあるか) ・市民と行政の協働は、大切なポストであり、難しいテーマでもあるが、市民の自覚、意識改革が大切と学んだ。	70歳以上	男性
市民参加型シンポジウムを、今後も大いに開催する必要性を感じ、学ぶことができた。街・人との創生が一番であることから、これからの自分の活動にも生かしていこうと考える。	70歳以上	女性
行政、大学、企業、市民の協働で活動するということに賛同します。	70歳以上	女性
まだまださいたまには、活性出来る材料があるとのこと	70歳以上	女性
さいたま市の未来を市民と共に考えるとの主旨に賛同し、来場したが、クリテリウムのポスターだらけ。ビデオもクリテリウムのだけ！さいたま市の未来はクリテリウムだけなのか？非常に立腹しています！！	不明	女性
市民の手で創る活動について「講演」を拝聴するのですか？→タウンミーティング(円卓会議)など、市民が主体の「カタチ」も考える必要があると思いました。 清水市長の「住みやすい」を90%にしたい←賛同します。目先の税収のみにとらわれず、2030年頃の「住みやすい」を99%に。	不明	不明